JDF Workflow Planner
リファレンス ガイド

2006 年 4 月 11 日版
注文番号：PDF ファイルとしてのみ入手可能
発行識別コード：JDW0001

NEXPRESS
A Kodak Company

© 2006 Kodak. All rights reserved.

本書の一部または全部を、書面による事前の許諾なしに、複写複製 (コピー) することを禁じます。

NexPress Solutions, Inc.
2600 Manitou Road
Rochester, New York 14653
USA
www.nexpress.com

Kodak、NexPress、NexBlanket、NexGlosser、NexPert、NexQ、NexStation、および NexTreme は、Kodak の商標です。

本書で明示的に記述していない他社の社名、製品名および商標名は、当該各メーカーの商標または登録商標であり、商標保護関連の法令の対象です。

重要事項：

弊社は、弊社製品の改良ならびに機能強化に努めております。そのため、本書の情報は断りなく変更されることがあります。

NexPress Solutions, Inc. は、本書に記載の他社製品の情報および記述に関して責任を負いません。

また、本書に含まれる弊社製品のアプリケーションに関する処理性能および処理速度、ならびに技術的データに関する情報については、機能に関する書面による契約ではないため、法的な義務はありません。

本書に記載されている製品について何らかの問題が発生した場合は、お客様を担当する NexPress 代理店までご連絡ください。

注文番号：PDF ファイルとしてのみ入手可能
発行識別コード：JDW0001
2006 年 4 月 11 日版
内部コード：v1.0
Printed in USA.

はじめに
本書について V
ソフトウェア バージョン V
前提条件 V
本書で使用される記号とスタイル VI
重要な情報 VII
本書についてのご意見 VII
その他のマニュアル VII
NexPress のサイト VII

1 **概要**
はじめに 1-1
JDF Workflow Planner とは 1-1
JDF ワークフロー プロセス 1-2
JDF Workflow Planner の使用 1-3
JDF Workflow Planner の起動 1-3
バージョンと著作権情報の表示 1-3
リファレンス ガイドのオンライン表示 1-4
JDF Workflow Planner の終了 1-4

2 **JDF ワークフロー テンプレートを使用する**
JDF ワークフロー テンプレートの新規作成 2-1
デフォルト設定に基づく JDF ワークフロー テンプレートの新規作成 2-1
既存のテンプレートに基づく JDF ワークフロー テンプレートの作成 2-3
既存の JDF ワークフロー テンプレートの変更 2-4
テンプレート レポジトリ ディレクトリの指定 2-5
テンプレート レポジトリ フォルダを開く 2-6

3 **ユーザー インターフェイスの説明**
メイン メニュー 3-1
［ファイル］メニュー 3-1
［ツール］メニュー 3-2
［ヘルプ］メニュー 3-3
［PrinergyJWP］メニュー 3-4
タブ 3-5
［NexStation］タブ 3-5
［コンテンツ］タブ 3-6
［パラメータ］タブ 3-7
［用紙］タブ 3-9
［マーク］タブ 3-11
［フィニッシング］タブ 3-13
［カラー／レンダリング］タブ 3-14

目次

本書について

『JDF Workflow Planner リファレンス ガイド』では、Kodak NexPress フルカラー デジタル印刷システムで Prinergy Workshop ソフトウェアを使用し、新しい JDF Workflow テンプレートを作成したり既存のテンプレートを修正する方法について説明します。

ソフトウェア バージョン

本書は Kodak NexStation フロント エンド ソフトウェアのバージョン 3.4 に基づく内容となっています。

前提条件

本書では、Kodak NexStation フロント エンドと Kodak NexPress フルカラー デジタル印刷システム のハードウェア、ソフトウェア、およびネットワークの各コンポーネントがすべて適切にインストールおよび設定され、正常に動作していることを前提としています。

印刷機のオペレータの方は、Kodak NexPress フルカラー デジタル印刷の認定トレーニングコースにご参加いただいたことが前提となっております。このコースの詳細については、弊社担当営業までお問い合わせください。

本書は、以下の条件を満たす方を対象に書かれています。

- 製版に関する実践的な知識がある。
- パーソナル コンピュータの使用に慣れている。
- Windows および Macintosh オペレーティング システムおよび LAN（ローカルエリアネットワーク）に関する基本的かつ実践的な知識がある。

JDF Workflow Planner (JWP) は次のソフトウェアのプラットフォームで使用できます。

- Windows XP
- Windows 2000
- Windows 2003
- Macintosh OS X

本書で使用される記号とスタイル

本書では、次の表記規則を使用します。

- 他の章や項への相互参照には下線が引かれ、画面では青で表示されます。

  例：
  「本書で使用される記号とスタイル」の項を参照してください。

- 文書名は『 』で、メニュー、機能名、ハードウェアの状態、スイッチの設定、システム メッセージなどは角かっこ（[]）で囲まれます。

  例：
  スイッチを［オフ］にします。

- ユーザーによる入力は、かぎかっこ（「」）で囲まれます。

  例：
  「12」と入力します。

- モニタに表示される文字列は角かっこ（[]）で囲まれます。

  例：
  ジョブ チケット テンプレートの編集中、タイトルバーは次のように表示されます。

  [ジョブチケットテンプレート設定]

- メニュー、機能、サブメニューなどの連続した手順は、スラッシュ（>）で分割されます。

  例：
  ［ファイル］>［開く］をクリックします。

- 複数のキーを同時に押す必要があることを示す場合は、プラス記号を使用します。

  例：
  Alt + A キーを押します。

重要な情報

本文中で重要情報は次の記号で示されます。



警告： ユーザーを傷害から守るために考慮する必要のある情報を示します。



注意： ハードウェアまたはソフトウェアの保全のために考慮する必要のある情報を示します。



注記：特定の項目に関する重要な情報（一般的および補足的なものを含む）を示します。



前提条件：次の手順を実行するための要件を示します。

本書についてのご意見

本書についてのご意見をお聞かせください。

- 必要な情報が簡単に見つかりましたか。
- その情報は問題を解決するのに役立ちましたか。
- 本書の構成は分かりやすいですか。
- 改善点はありますか。
- 本書に間違いがありましたか。その場合間違いのあった具体的な箇所もお知らせください。

ご意見、ご批評、ご提案は、次の電子メールアドレスにお送りください。

docufeedback@nexpress.com

英語またはドイツ語でご意見をいただければ幸いです。



注記：この電子メール アドレスは Kodak NexStation フロント エンド ソフトウェア、Kodak NexPress フルカラー デジタル印刷システム、または JDF Workflow Planner ソフトウェアに関するご意見**ではなく**、本書に関するご意見をお送りいただくためにだけご使用ください。

ご意見をお待ちしております。

その他のマニュアル

JDF Workflow Planner に引用されている一般的な Kodak NexStation フロント エンド ソフトウェアの機能のそれぞれに関する詳細な記述については、『Kodak NexStation viewer ヘルプ』または『Kodak NexPress P1 デジタル印刷システムシリーズ ユーザー ガイド／オンラインヘルプ』を参照してください。

NexPress のサイト

詳細については、www.nexpress.com をご覧ください。

はじめに

本書は、PDF 形式ですので、Adobe Acrobat アプリケーションから直接印刷することができます。

本書は、JDF Workflow Planner の特長および機能に関する情報の提供を目的としています。また、JDF ワークフロー テンプレートの新規作成、および既存のテンプレートの編集に関する手順も記載しています。

本書は、次の項で構成されています。

- JDF Workflow Planner とは（ 1-1 ページを参照）
- JDF ワークフロー プロセス（ 1-2 ページを参照）
- JDF Workflow Planner の使用（ 1-3 ページを参照）
- JDF ワークフロー テンプレートを使用する（ 2-1 ページを参照）
- ユーザー インターフェイスの説明（ 3-1 ページを参照）

JDF Workflow Planner とは

JDF Workflow Planner は Kodak NexPress フルカラー デジタル印刷システムに使用する JDF ワークフロー テンプレートを作成する Java ベースのアプリケーションです。JDF はオープンな業界基準を使用した汎用的な形式で、ワークフロー システムの処理工程全体を通して使用され、Kodak NexPress フルカラー デジタル印刷システムのワークフロー構造においても重要な役割を果たします。JDF ワークフローでは、適切なプロセス プランを作成することが重要です。JDF Workflow Planner は Kodak NexPress フロント エンド ソフトウェアのプロセス プランを構築するユーザー フレンドリーなツールです。

他の JDF デバイスと同様に、Kodak NexPress フロント エンド ソフトウェアはデバイスに依存する独自の構造で JDF を処理するため、JDF コントローラとクライアントから JDF ポータル インターフェイスにジョブを送信する必要があります。JDF Workflow Planner を使用すると、ユーザーは Kodak NexPress フロント エンド ソフトウェアのデバイスに依存する JDF 処理構造に関する知識がなくても、Kodak NexPress フルカラー デジタル印刷システム用に JDF ワークフロー テンプレートを作成するための開発、テスティング、および運用に沿った修正を 1 つのソフトウェア コンポーネントで実行できます。

JDF ワークフロー プロセス

JDF Workflow Planner を使用すると、Prinergy Workshop ソフトウェアおよび Kodak NexPress フルカラー デジタル印刷システム間に JDF ベースのホット フォルダ インターフェイスが提供され、使いやすくなります。

以下は、ジョブの設定および送信する場合の基本的な手順です。

1. Prinergy Workshop ソフトウェアから JDF Workflow Planner を起動します。
2. Prinergy Workshop ソフトウェアで、Kodak NexPress フロント エンドなど、出力先であるデバイスを指定します。
   - Kodak NexPress フロント エンド ソフトウェアのジョブ チケット テンプレート用のフォルダを Prinergy Workshop ソフトウェアに設定します。
   - JDF Workflow テンプレートを設定します。
3. JDF Workflow Planner を使用して次の処理を実行します。
   - Kodak NexPress フロント エンド ソフトウェアの JDF ジョブ チケット テンプレートを作成または編集します。用紙、カラー、フィニッシング、トリム サイズ、向きなどのジョブ チケット パラメータを指定します。
   - JDF ワークフロー テンプレートを保存します。
   - JDF ワークフロー テンプレートを Prinergy Workshop ソフトウェアから Kodak NexStation フロント エンドに送信します。

JDF Workflow Planner の使用

この項では、アプリケーションの起動と終了、バージョンと著作権情報の表示、このリファレンス ガイドのオンライン表示など、JDF Workflow Planner の基本操作について説明します。

JDF Workflow Planner の起動

Prinergy Workshop ソフトウェアから JDF Workflow Planner を起動します。ただし、JDF Workflow Planner をスタンドアロン アプリケーションとして使用する場合は、次の手順を実行します。

JDF Workflow Planner をスタンドアロン アプリケーションとして起動するには：

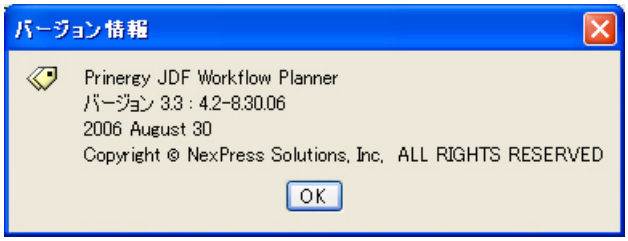
- 次のいずれかを実行します。
  - Windows で、［スタート］>［プログラム］>［Prinergy JWP］>［Prinergy JWP］の順に選択します。
  - Windows または Macintosh システムで、デスクトップの［Prinergy JWP］アイコン  をダブルクリックします。

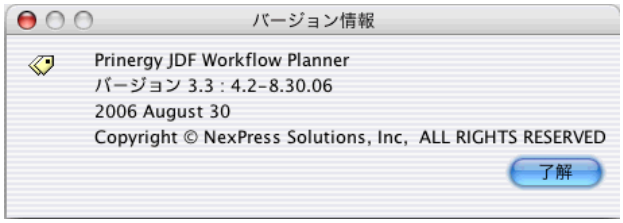
バージョンと著作権情報の表示

バージョンと著作権情報を表示するには：

- メイン メニューから、次のいずれかを実行します。
  - Windows システムで、［ヘルプ］>［バージョン情報］を選択します。
  - Macintosh システムで、［PrinergyJWP］>［PrinergyJWP について］を選択します。

［バージョン情報］ダイアログ ボックスが開き、現在の JDF Workflow Planner のバージョン番号と著作権情報が表示されます。





リファレンス ガイドのオンライン表示

リファレンス ガイドをオンラインで表示するには：

- メイン メニューから、［ヘルプ］>［リファレンス ガイド］をクリックします。

  Adobe Acrobat Reader が開き、『JDF Workflow Planner リファレンス ガイド』が表示されます。

JDF Workflow Planner の終了

JDF Workflow Planner を終了するには：

- メイン メニューから、次のいずれかを実行します。
  - Windows システムでは、［ファイル］>［終了］をクリックします。
  - Macintosh システムでは、［PrinergyJWP］>［PrinergyJWP を終了］をクリックします。

この項では、JDF ワークフロー テンプレートの新規作成と既存の JDF ワークフロー テンプレートの変更に必要な手順を説明します。

JDF ワークフロー テンプレートの新規作成

JDF Workflow Planner を使用して、デフォルト設定に基づき JDF ワークフロー テンプレートを新規作成するか、既存のテンプレートに基づき JDF ワークフロー テンプレートを作成することができます。

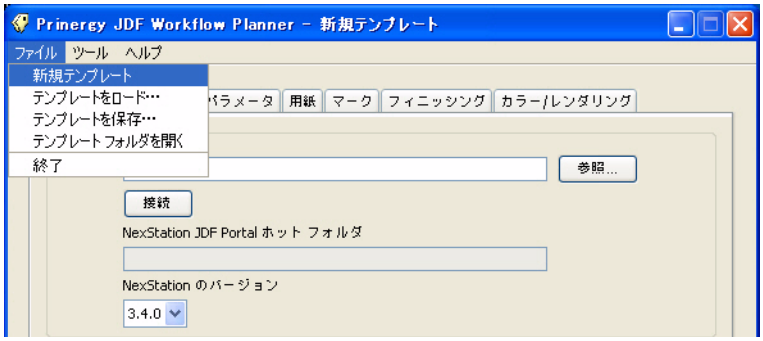
デフォルト設定に基づく JDF ワークフロー テンプレートの新規作成

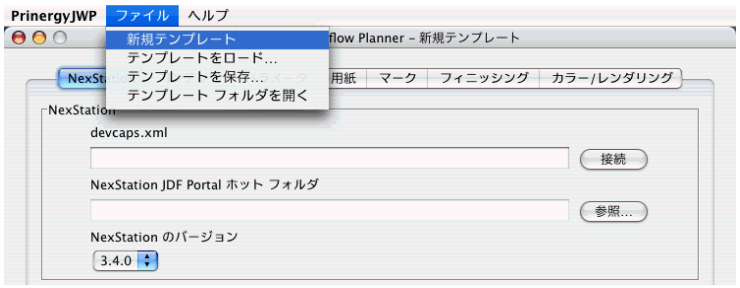
最初に JDF Workflow Planner を開くと、デフォルト設定が表示され、新しい JDF ワークフロー テンプレートを作成できます。タイトル バーに［新規テンプレート］と表示されていることを確認してください。

デフォルト設定に基づき JDF ワークフロー テンプレートを新規作成するには：

1. 必要な場合は、メイン メニューから［ファイル］>［新規テンプレート］を選択します。

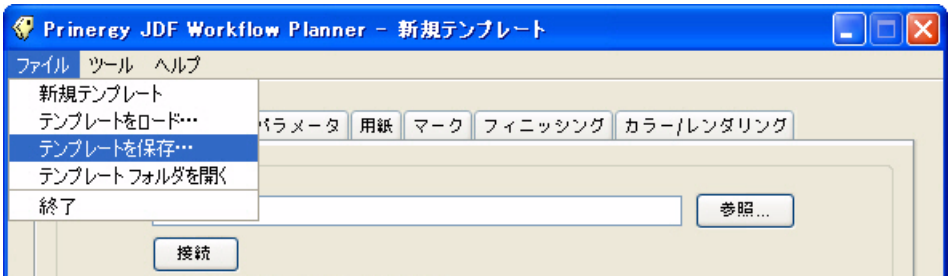
   タイトル バーに［新規テンプレート］が表示されます。

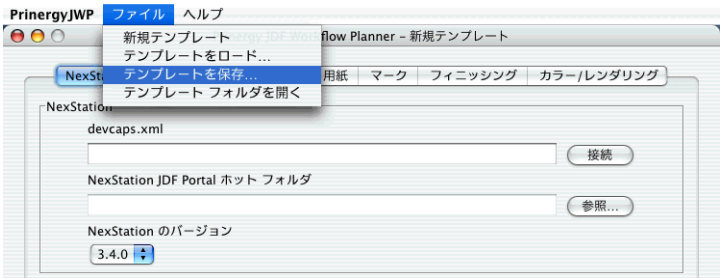




2. 各タブを選択して目的のパラメータを指定します。詳細については、「ユーザー インターフェイスの説明」章を参照してください。

3. メイン メニューから［ファイル］>［テンプレートを保存］を選択します。





次のうちいずれかが実行されます。

- Windows システムでは、［保存］ダイアログ ボックスが開きます。
- Macintosh システムでは、タイトルのないダイアログ ボックスが開きます。

4. 次のいずれかを実行します。
   - Windows システムでは、［ファイル名］に新規テンプレートの名前を入力します。
   - Macintosh システムでは、［名前］に新規テンプレートの名前を入力します。
5. ［保存］をクリックします。

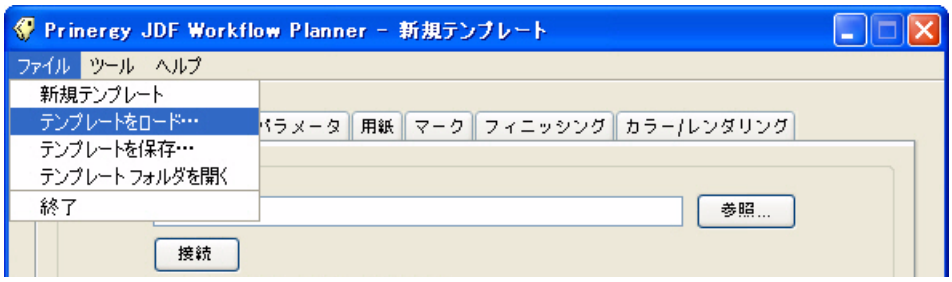
   タイトル バーに新規テンプレートの名前が表示されます。

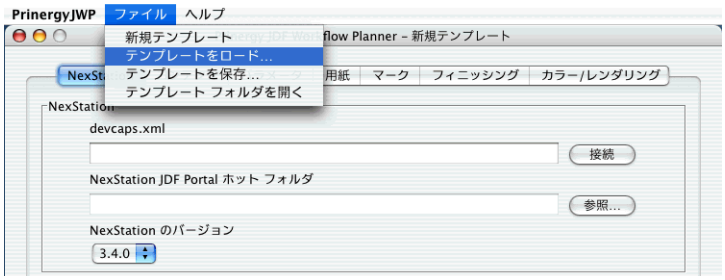
既存のテンプレートに基づく JDF ワークフロー テンプレートの作成

既存のテンプレートに基づき JDF ワークフロー テンプレートを作成できます。この方法では、新規テンプレートに使用するパラメータのほとんどが既存のテンプレートで使用されている場合に、設定を若干変更するだけで簡単にテンプレートを作成できます。

既存のテンプレートに基づき JDF ワークフロー テンプレートを作成するには：

1. メイン メニューから［ファイル］>［テンプレートをロード］を選択します。





次のうちいずれかが実行されます。

- Windows システムでは、［開く］ダイアログ ボックスが開きます。
- Macintosh システムでは、タイトルのないダイアログ ボックスが開きます。

2. 新規テンプレートの基となるテンプレートを選択します。
3. ［開く］をクリックします。
4. 各タブを選択して目的のパラメータを指定します。詳細については、「ユーザー インターフェイスの説明」章を参照してください。
5. メイン メニューから［ファイル］>［テンプレートを保存］を選択します。

   次のうちいずれかが実行されます。

   - Windows システムでは、［保存］ダイアログ ボックスが開きます。
   - Macintosh システムでは、タイトルのないダイアログ ボックスが開きます。
6. 次のいずれかを実行します。
   - Windows システムでは、［ファイル名］に新規テンプレートの名前を入力します。
   - Macintosh システムでは、［名前］に新規テンプレートの名前を入力します。
7. ［保存］をクリックします。

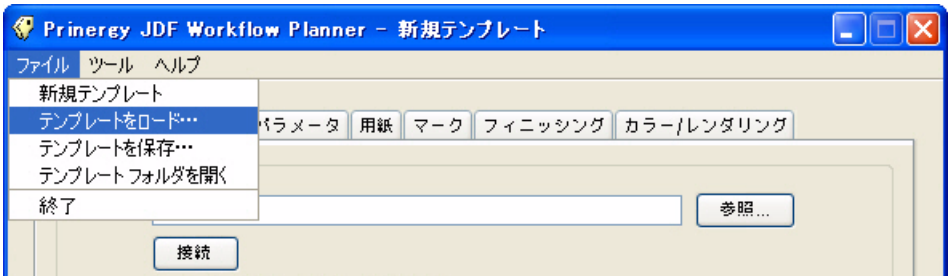
   タイトル バーに新規テンプレートの名前が表示されます。

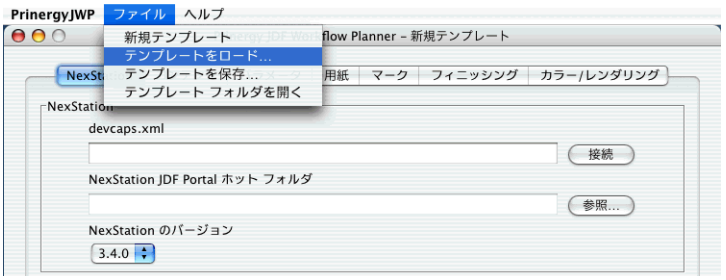
既存の JDF ワークフロー テンプレートの変更

JDF Workflow Planner では、既存の JDF ワークフロー テンプレートを変更して同じ名前で保存することができます。

既存の JDF ワークフロー テンプレートを変更するには：

1. メイン メニューから［ファイル］>［テンプレートをロード］を選択します。





次のうちいずれかが実行されます。

- Windows システムでは、［開く］ダイアログ ボックスが開きます。
- Macintosh システムでは、タイトルのないダイアログ ボックスが開きます。

2. 変更するテンプレートを選択します。
3. ［開く］をクリックします。
4. 各タブを選択して目的のパラメータを指定します。詳細については、「ユーザー インターフェイスの説明」章を参照してください。
5. メイン メニューから［ファイル］>［テンプレートを保存］を選択します。

   次のうちいずれかが実行されます。

   - Windows システムでは、［保存］ダイアログ ボックスが開きます。
   - Macintosh システムでは、タイトルのないダイアログ ボックスが開きます。
6. 次のいずれかを実行します。
   - Windows システムでは、［ファイル名］フィールドに新規テンプレートの名前を入力するか、テンプレート名を選択して［ファイル名］フィールドにその名前を表示します。
   - Macintosh システムでは、［名前］に新規テンプレートの名前を入力します。
7. ［保存］をクリックします。

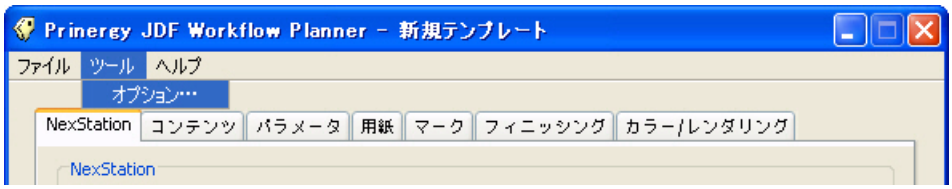
   タイトル バーにテンプレートの名前が表示されます。

テンプレート レポジトリ ディレクトリの指定

テンプレート レポジトリは JDF ワークフロー テンプレートの保存、ロード、および開くを実行するデフォルトの場所です。

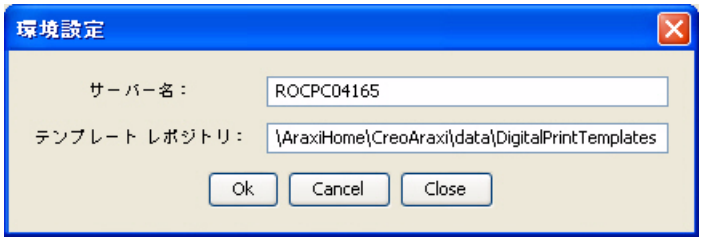
テンプレート レポジトリ ディレクトリを指定するには：

1. メイン メニューから、次のいずれかを実行します。
   - Windows システムで、［ツール］>［オプション］を選択します。
   - Macintosh システムでは、［PrinergyJWP］>［環境設定］を選択します。





［環境設定］ダイアログ ボックスが表示されます。





2. ［サーバー名］フィールドに、使用しているサーバー名を入力します。
3. ［テンプレート レポジトリ］フィールドに、テンプレート レポジトリを指定するディレクトリ パスを入力します。
4. ［OK］をクリックします。

テンプレート レポジトリ フォルダを開く

テンプレート レポジトリ フォルダを開くには：

- メイン メニューから［ファイル］>［テンプレート フォルダを開く］を選択します。

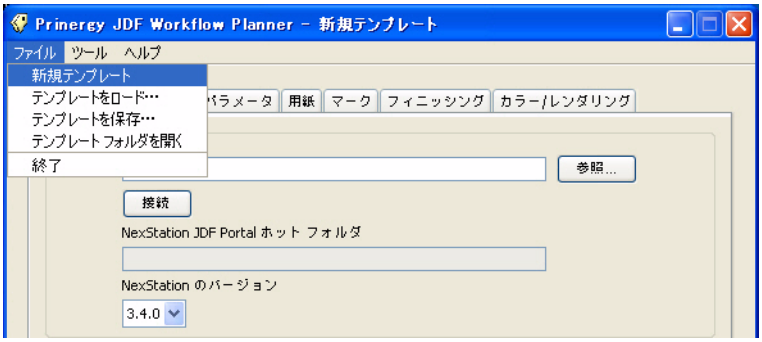
  エクスプローラのウィンドウが開き、テンプレート レポジトリに JDF ワークフロー テンプレートが表示されます。

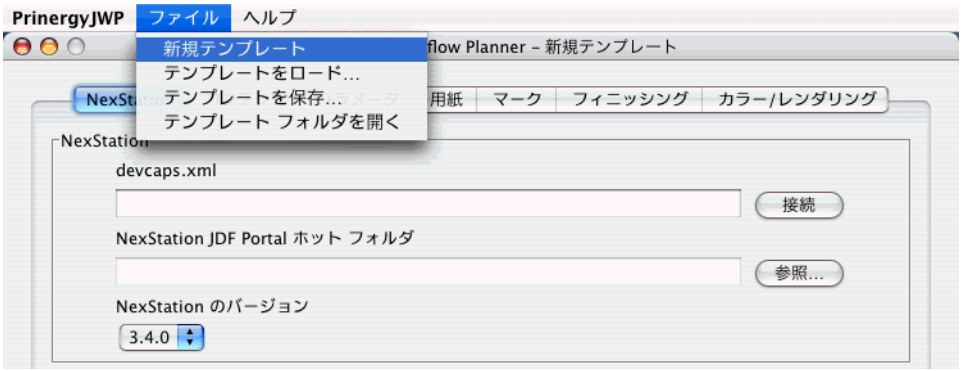
JDF Workflow Planner はメイン メニューと、JDF ワークフロー テンプレートの新規作成または変更に必要なパラメータが含まれる 7 つのタブから構成されます。

メイン メニュー

Windows システムのメイン メニューは、［ファイル］、［ツール］、［ヘルプ］の 3 つのドロップダウン メニューから構成されます。Macintosh システムのメイン メニューは、［PrinergyJWP］、［ファイル］、［ヘルプ］の 3 つのドロップダウン メニューから構成されます。

［ファイル］メニュー





新規テンプレート

［新規テンプレート］で JDF Workflow Planner はデフォルト設定にリセットされます。タイトル バーに［新規テンプレート］が表示されます。

テンプレートをロード

［テンプレートをロード］機能で［開く］ダイアログ ボックスが表示されます。JDF ワークフロー テンプレートを選択すると、パラメータが JDF Workflow Planner にロードされ、タイトル バーにその JDF ワークフロー テンプレートの名前が表示されます。

テンプレートを保存

［テンプレートを保存］機能で［保存］ダイアログ ボックスが表示され、このダイアログ ボックスから JDF ワークフロー テンプレート として現在のパラメータを保存できます。

テンプレート フォルダを開く

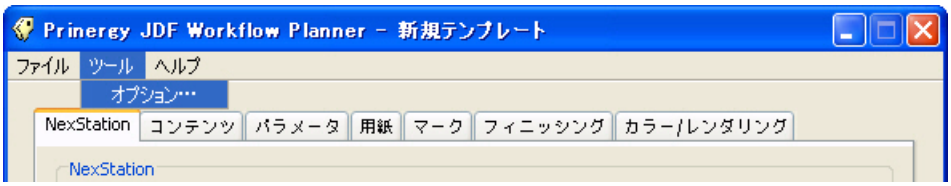
［テンプレート フォルダを開く］機能で Explorer ウィンドウが開き、テンプレート レポジトリが表示されます。このウィンドウはテンプレート レポジトリの管理に便利です。［ツール］>［オプション］を選択してテンプレート レポジトリの場所を指定できます。

注記：テンプレート レポジトリは、JDF ワークフロー テンプレートを保存したりロードするためのデフォルトの場所です。

終了

［終了］機能で JDF Workflow Planner を終了します。このオプションは Windows システムでのみ有効ですが、Macintosh システムの［PrinergyJWP を終了］と同じです。

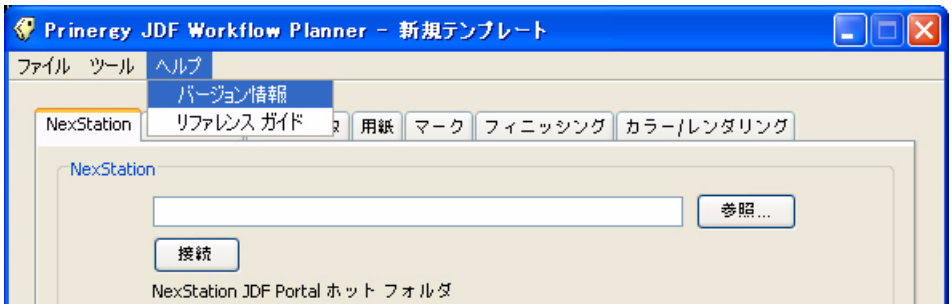
［ツール］メニュー

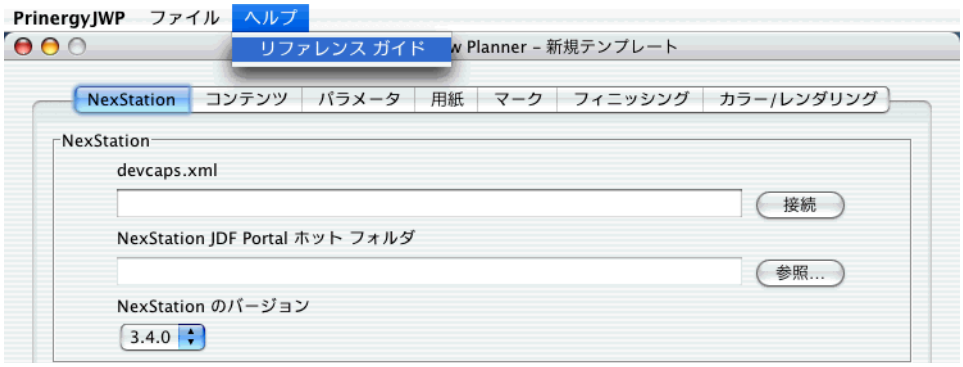


オプション

［オプション］機能で［環境設定］ダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスを使用してサーバー名およびテンプレート レジストリのディレクトリ パスを設定できます。ここでの設定は、［テンプレート フォルダを開く］、［テンプレートをロード］、および［テンプレートを保存］機能で使用されます。このオプションは Windows システムでのみ有効ですが、Macintosh システムの［環境設定］と同じです。

［ヘルプ］メニュー





バージョン情報

［バージョン情報］機能で、現在の JDF Workflow Planner のバージョン番号と著作権情報が表示されます。このオプションは Windows システムでのみ有効ですが、Macintosh システムの［PrinergyJWP について］と同じです。

リファレンス ガイド

［リファレンス ガイド］機能で『JDF Workflow Planner リファレンス ガイド』が Adobe Acrobat Reader で表示されます。

［PrinergyJWP］メニュー



PrinergyJWP について

［PrinergyJWP について］を選択すると、現在の JDF Workflow Planner のバージョン番号と著作権情報が表示されます。このオプションは Macintosh システムでのみ有効ですが、Windows システムの［バージョン情報］と同じです。

環境設定

［環境設定］を選択すると、［環境設定］ダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスを使用してサーバー名およびテンプレート レジストリのディレクトリ パスを設定できます。ここでの設定は、［テンプレート フォルダを開く］、［テンプレートをロード］、および［テンプレートを保存］機能で使用されます。このオプションは Macintosh システムでのみ有効ですが、Windows システムの［オプション］と同じです。

PrinergyJWP を終了

［PrinergyJWP を終了］機能で JDF Workflow Planner を終了します。このオプションは Macintosh システムでのみ有効ですが、Windows システムの［終了］と同じです。

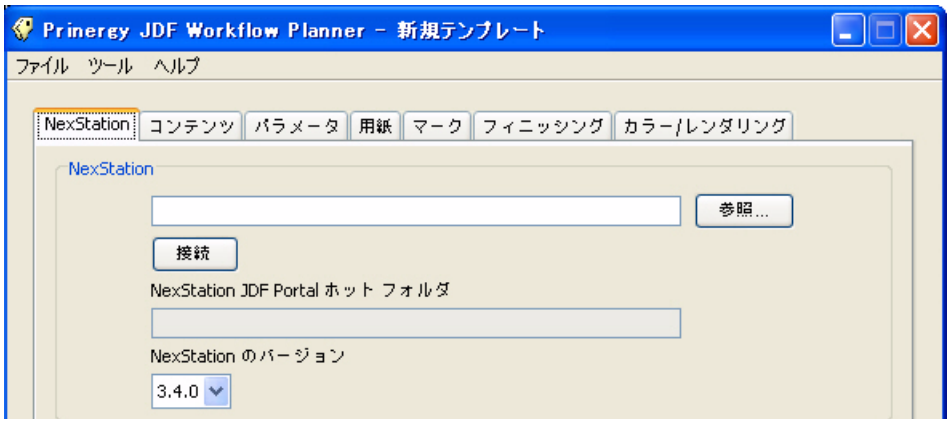
タブ

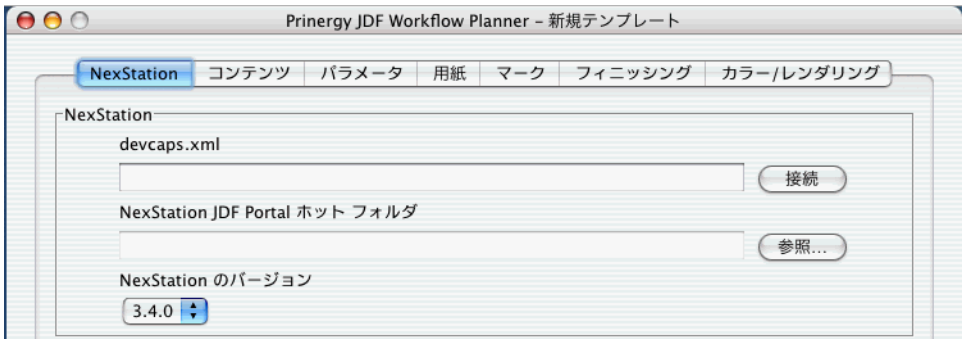
JDF Workflow Planner には 7 つのタブがあり、これを使用して JDF ワークフロー テンプレートのパラメータを設定できます。タブには［NexStation］、［コンテンツ］、［パラメータ］、［用紙］、［マーク］、［フィニッシング］、および［カラー／レンダリング］が含まれます。

［NexStation］タブ

［NexStation］タブには特定の Kodak NexStation フルカラー デジタル印刷システムを指定するためのフィールドがあり、ここからデバイスの機能を読み込みます。このファイルには次の項目が含まれます。

- 使用可能な用紙。
- Kodak NexStation フロント エンド ソフトウェアのバージョン番号。
- ICC（カラー）プロファイル。
- システムのデフォルト データ。
- デリバリ（出力ビン）オプション。





注記：Kodak NexStation フロント エンドが選択されていない、または新規の JDF ワークフロー テンプレートが作成中である場合、JDF Workflow Planner は内部デフォルトデバイス機能ファイルを使用して JDF Workflow Planner インターフェイスを有効にします。このデフォルトは Kodak NexStation フロント エンドを基本としています。

NexStation

［NexStation］フィールドでは、IP アドレスやネットワークでアクセス可能な Kodak NexStation フロント エンドの名前を指定できます。名前の例は \\NexStation-100 です。［参照］ボタンを使用して、ネットワーク上の Kodak NexStation フロント エンドの場所を指定することもできます。

NexStation JDF Portal ホット フォルダ

NexStation JDF Portal ホット フォルダ の読み取り専用フィールドには、Kodak NexStation フロント エンド上の JDF Portal ホット フォルダの場所が表示されます。この場所からデバイス機能ファイルが読み取られます。

NexStation バージョン

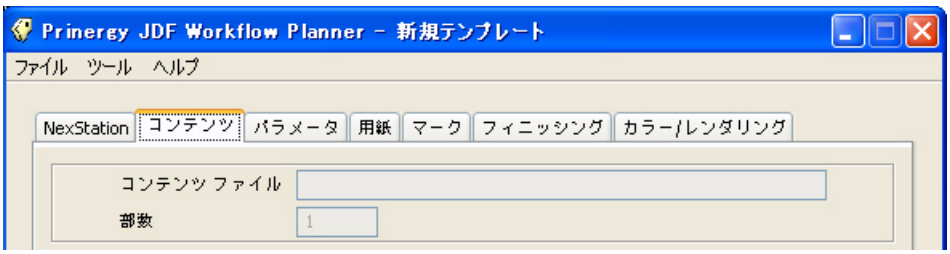
［NexStation バージョン］リストには JDF Workflow Planner がサポートする Kodak NexStation フロント エンド ソフトウェアのバージョン番号が表示されます。ユーザーがこのリストから選択したバージョンの Kodak NexStation フロント エンド ソフトウェアには、［テンプレートを保存］で保存された JDF ワークフロー テンプレートとの互換性があります。このバージョン番号は手動で選択できますが、既存の JDF ワークフロー テンプレートが開いている、または Kodak NexStation フロント エンドが選択されている場合に自動的に入力されます。

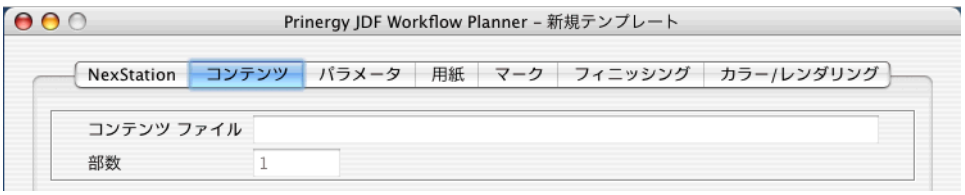
注記：［NexStation のバージョン］で選択するバージョンは、JDF ワークフロー テンプレートを使用する Kodak NexStation フロント エンド ソフトウェアと同じバージョンにしてください。

また、Kodak NexStation フロント エンドがデバイス機能ファイルを正しく読み込むと、対応する Kodak NexStation フロント エンド ソフトウェアのバージョン番号がドロップダウン リストから自動的に選択され、このリストは無効になります。

［コンテンツ］タブ

［コンテンツ］タブには、読み取り専用で表示目的のみに使用される［コンテンツ ファイル］と［部数］フィールドがあります。JDF ワークフロー テンプレートをロードすると、各フィールドにコンテンツ ファイル名と部数が表示されます。これらは、ロードされた JDF ワークフロー テンプレートに保存されている設定です。

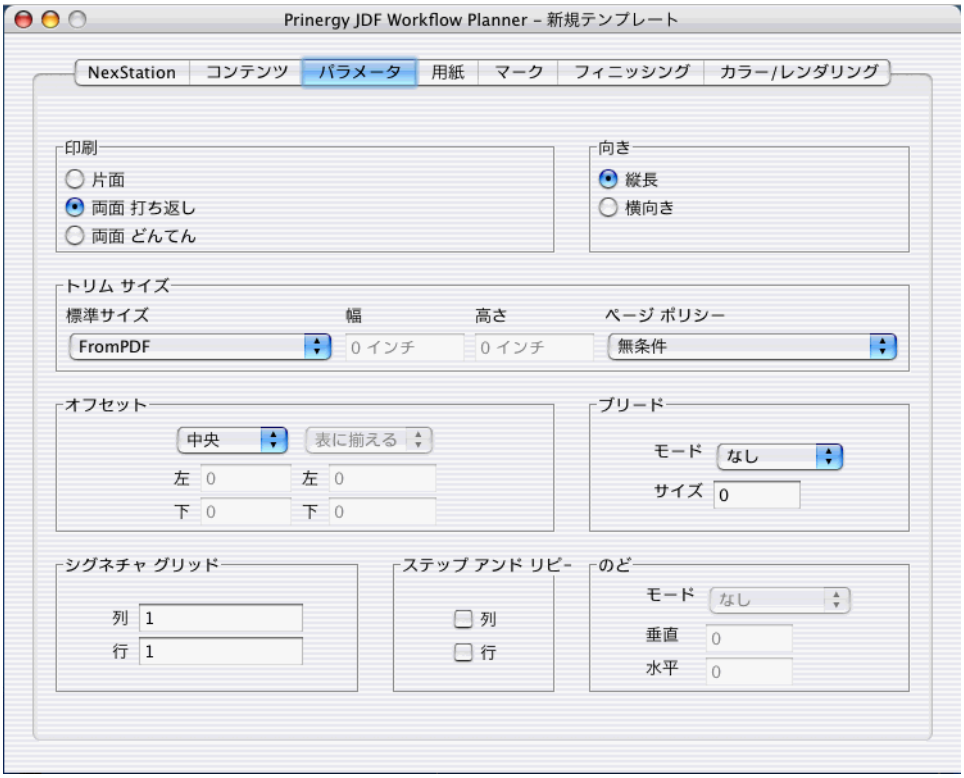




［パラメータ］タブ

［パラメータ］タブでは、片面印刷、両面印刷、向き、トリム サイズ、オフセット、ブリード、のど、などのさまざまなパラメータを印刷ジョブに設定できます。





印刷

［印刷］エリアでは、ジョブをシートの表または表と裏に印刷するかどうかを指定できます。

向き

［向き］エリアでは、［縦長］または［横向き］など、シートの見開きの向きを指定できます。

トリム サイズ

［トリム サイズ］エリアでは、読者が見る最終的な印刷物のページのサイズを定義します。

ページ ポリシー

［ページ ポリシー］では、面付け設定で定義したトリム ボックスに合っていない PDF または PostScript のトリム ボックスがページに含まれている場合、このページを処理する方法について指定できます。

オフセット

［オフセット］では、見開き（すべてのページのセット）のオフセットを指定できます。

ブリード

［ブリード］エリアでは、トリム ボックスの周りに追加するスペースを指定できます。

シグネチャ グリッド

［シグネチャ グリッド］エリアでは、グリッドの行数と列数を入力できます。

ステップ アンド リピート

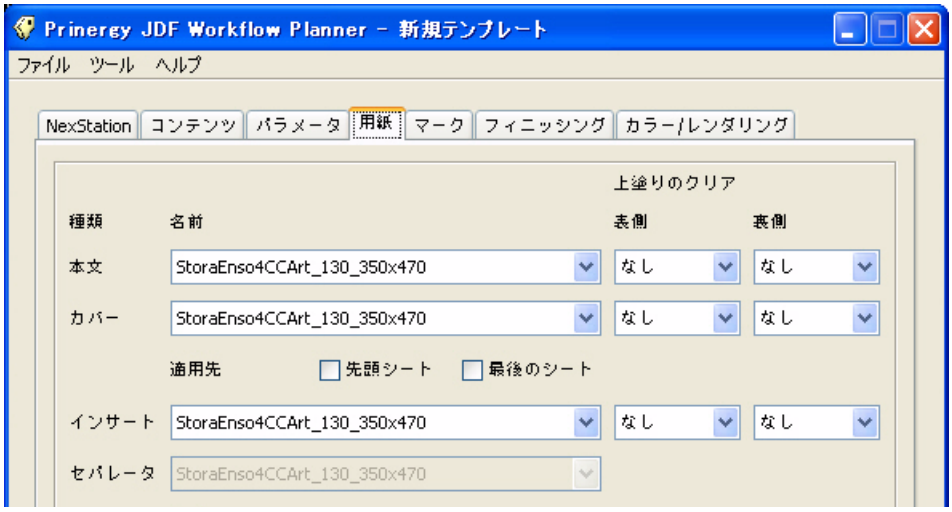
［ステップ アンド リピート］エリアでは、ページを 1 枚のシートに繰り返し印刷することができます。

のど

［のど］エリアでは、トリム ボックスの周りのスペースを定義できます。

［用紙］タブ

［用紙］タブでは、ジョブの本文、カバー、およびインサート用の用紙を選択できます。また、［セパレータ］チェック ボックスをオンにすると、セパレータ シートに使用する用紙も選択できます。





本文、カバー、インサート、およびセパレータ

［本文］、［カバー］、［インサート］、および［セパレータ］ドロップダウン リストから、さまざまなページ タイプの用紙を選択できます。現在選択されている用紙タイプは、［名前］列に表示されます。

［先頭シート／最後のシート］チェック ボックスをオンにすると、［カバー］用に指定されている用紙がジョブの先頭または最後のシート、あるいはそれらの両方に割り当てられます。

注記：Kodak NexStation imposition viewer ソフトウェアを使用して送信する前に、インサートとしてジョブをスタンプする必要があります。［インサート］オプションを使用するには、『3-10 ページ』の「［インサート］オプションの使用」の項を参照してください。

上塗りのクリア

［上塗りのクリア］エリアでは、クリア ドライ インキの上塗りを用紙に適用する指定を行います。セパレータ シートに［上塗りのクリア］を適用することはできません。用紙の表および裏に［上塗りのクリア］を使用するオプションを選択することもできます。

［インサート］オプションの使用

［インサート］オプションを使用するには、次の手順を PDF で実行する必要があります。

Kodak NexStation imposition viewer を使用して、用紙タイプをページに適用するには：

1. ［インサート］としてスタンプするページを選択します。
2. ページを右クリックして、ポップアップ メニューを表示します。

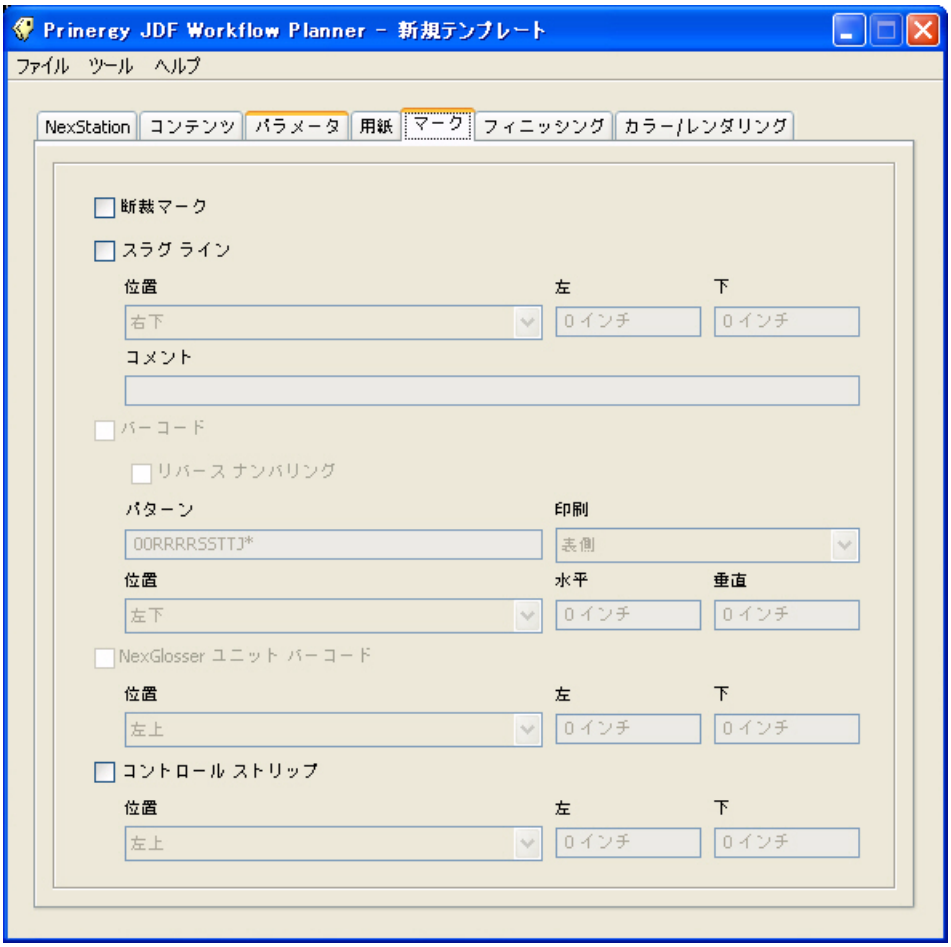
   チェック マークは、現在ページに割り当てられている用紙の種類を示します。
3. 別の用紙の種類をクリックすると、このページの用紙の種類が変わります。

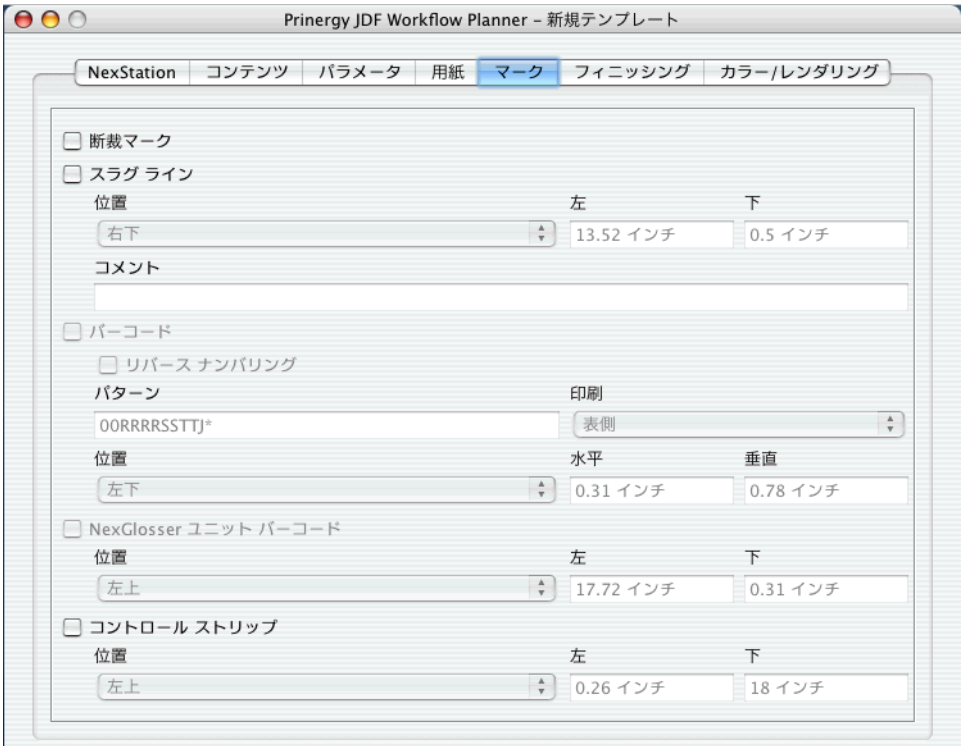
   ［面付けしたビュー］ウィンドウのシートの下部に、対応する色のスタンプが表示されます。

   これで JDF Workflow Planner の［インサート］オプションを問題なく選択できます。PDF でスタンプしたページに、指定の用紙が挿入されます。

［マーク］タブ

［マーク］タブで［断裁マーク］、［スラグ ライン］、［バーコード］、［NexGlosser ユニット バーコード］、［コントロール ストリップ］の設定を定義できます。





断裁マーク

［断裁マーク］チェック ボックスを使用して、ジョブの各ページに断裁マークを印刷できます。断裁マークは編集できません。

スラグ ライン

［スラグ ライン］チェック ボックスを使用して、ジョブの各ページにスラグ ラインを印刷できます。スラグ ラインにはファイル名、日付、時刻情報がデフォルトで含まれています。スラグ ラインの位置も選択できます。

バーコード

［フィニッシング］タブの［スタイル］が［中綴じ］に設定されている場合、［バーコード］チェック ボックスを使用して、各シートにバーコードを印刷できます。

NexGlosser ユニット バーコード

［上塗りのクリア］が［光沢仕上げ］または［保護仕上げ］に設定されている場合、［NexGlosser ユニット バーコード］チェック ボックスを使用して、ジョブの各シートに Kodak NexGlosser グロス ユニットのバーコードを印刷できます。

コントロール ストリップ

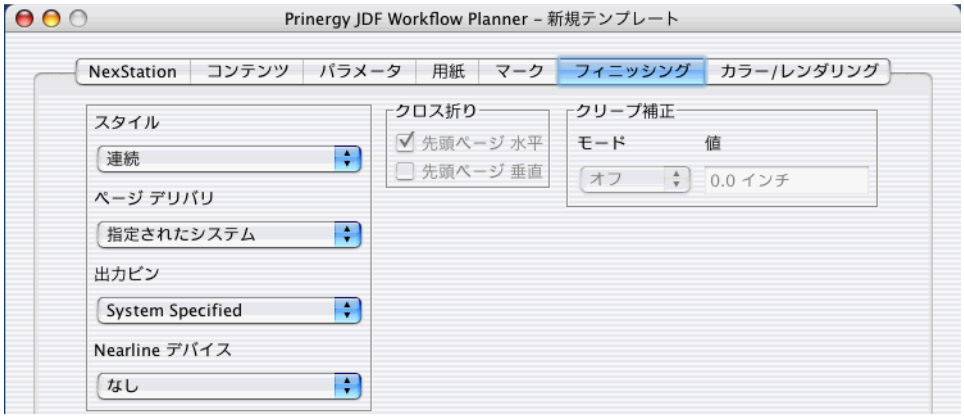
［コントロール ストリップ］チェック ボックスを使用して、ジョブの各シートにさまざまなカラー パッチのコントロール ストリップを印刷できます。コントロール ストリップは、色合わせやドライ インキのカバー率の確認に使用します。

コントロール ストリップは、シートの左下を基準にあらかじめ設定された場所に配置できます。位置の値を入力または変更することもできます。コントロール ストリップの位置は、スラグ ライン（ 3-12 ページを参照）の位置に類似しています。

［フィニッシング］タブ

［フィニッシング］タブを使用して、フィニッシングのスタイル、ページ デリバリ、出力ビン、およびデバイスのパラメータを設定できます。





スタイル

［スタイル］ドロップダウン リストで［無線綴じ］、［中綴じ］、［連続］、［カット アンド スタック］、［奇数 - 偶数仕上げ］、［無線綴じ (右綴じ用)］、［中綴じ (右綴じ用)］などからいずれかのフィニッシング スタイルを選択できます。

ページ デリバリ

［ページ デリバリ］ドロップダウン リストで、［システムでの指定］、［連続用紙］、［フェイス アップ - 正順］、［フェイス ダウン - 正順］、［フェイス アップ - 逆順］、または［フェイス ダウン - 逆順］など、ページをデリバリする順序を選択できます。

出力ビン

［出力ビン］ドロップダウン リストで、［システムでの指定］、［プルーフ デリバリ］、［メイン デリバリ］、［メイン デリバリ 2］、または［インライン フィニッシャ］など、デリバリ先を選択できます。

Nearline デバイス

［Nearline デバイス］ドロップダウン リストで、［なし］、［カスタム］、［DSF-2000］、［インバータつき DSF-2000］など、Nearline フィニッシング デバイスを選択できます。

クロス折り

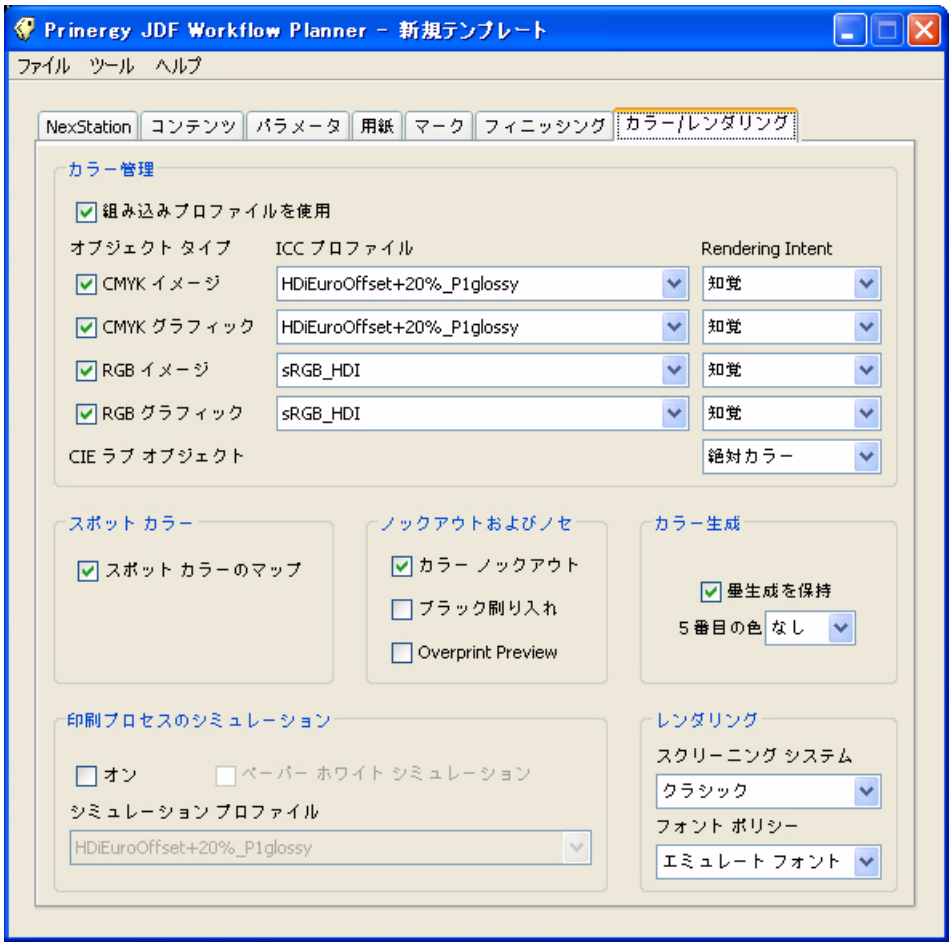
［クロス折り］エリアでは、ジョブの印刷後初めに横または縦のいずれに折るかを指定できます。これは、4 枚の画像を 1 枚のシートに印刷し、［スタイル］が［無線綴じ］に設定されている場合に便利です。つまり、印刷後のワークフローに応じて、オプションを選択することができます。この設定により、各ページが正しく面付けされます。

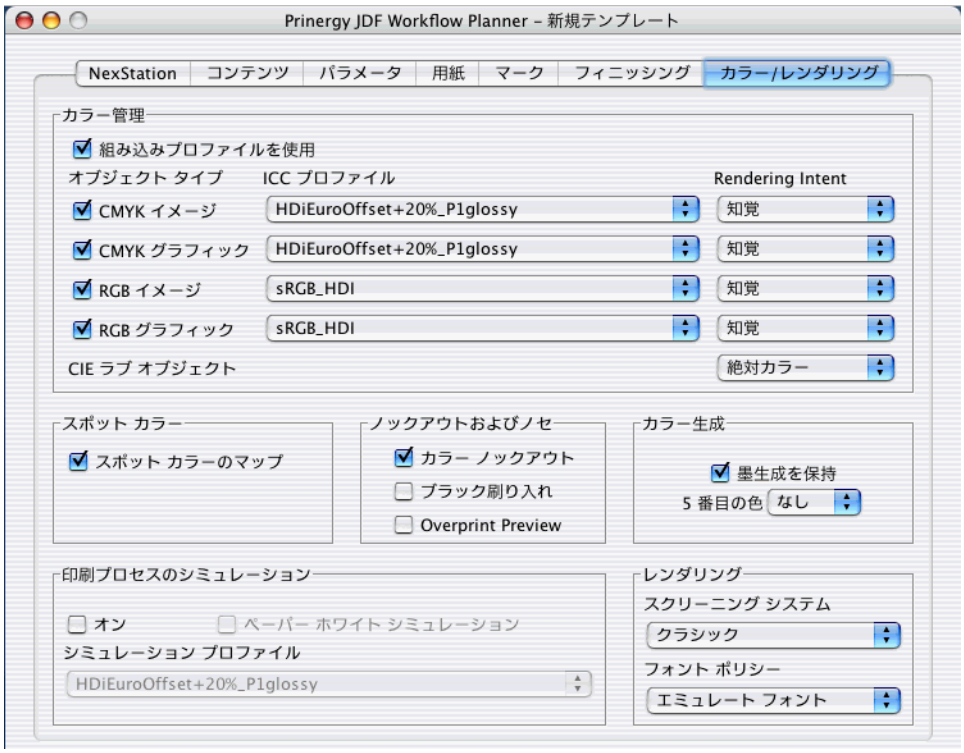
クリープ補正

［クリープ補正］エリアでは、［スタイル］が［中綴じ］に指定された場合にクリープ補正を行って、各ページを中央に配置するための設定を行います。

［カラー／レンダリング］タブ

［カラー／レンダリング］タブを使用して、カラー管理、スポット カラー処理、レンダリングのスクリーン システムとフォントのパラメータを設定できます。




Prinergy JDF Workflow Planner – 新規テンプレート
NexStation
コンテンツ
パラメータ
用紙
マーク
フィニッシング
カラー/レンダリング
カラー管理
組み込みプロファイルを使用
オブジェクト タイプ
ICC プロファイル
Rendering Intent
CMYK イメージ
HDiEuroOffset+20%_P1glossy
知覚
CMYK グラフィック
HDiEuroOffset+20%_P1glossy
知覚
RGB イメージ
sRGB_HDI
知覚
RGB グラフィック
sRGB_HDI
知覚
CIE ラブ オブジェクト
絶対カラー
スポット カラー
スポット カラーのマップ
ノックアウトおよびノセ
カラー ノックアウト
ブラック刷り入れ
Overprint Preview
カラー生成
墨生成を保持
5 番目の色
なし
印刷プロセスのシミュレーション
オン
ペーパー ホワイト シミュレーション
シミュレーション プロファイル
HDiEuroOffset+20%_P1glossy
レンダリング
スクリーニング システム
クラシック
フォント ポリシー
エミュレート フォント

カラー管理

［カラー管理］エリアでは、オブジェクト タイプ、ICC プロファイル、Rendering Intent のパラメータを指定できます。

スポット カラー

［スポット カラー］エリアでは、ソース ドキュメントで定義された Pantone または HKS のカラー値を、スポット カラー データベースを基に Lab カラー データにマップできます。このオプションが選択されていないと、スポット カラーに定義されている代用 CMYK カラー値が使用され、他のカラーと同様に Lab データに変換されます。

ノックアウトおよびノセ

［ノックアウトおよびノセ］エリアでは、［カラー ノックアウト］と［ブラック刷り入れ］間で選択できます。ノックアウトは、2 つ以上のオブジェクトが重なっている領域で、一番上にあるオブジェクトのみが印刷され、下にあるその他のオブジェクトが印刷されないことを意味します。［ブラック刷り入れ］は 100% ブラックとして定義されたオブジェクト（テキストとグラフィック）をオーバープリントするよう設定します。つまり、そのテキストとグラフィックは常に黒で印刷されます。

カラー生成

［カラー生成］エリアでは、［墨生成を保持］を選択して 5 番目の色を特定できます。［墨生成を保持］が選択されていると、CMYK イメージの暗色はシアン、マゼンタ、イエローの代わりに黒で印刷されます。

印刷プロセスのシミュレーション

［印刷プロセスのシミュレーション］エリアでは、ジョブが Kodak NexPress デジタル フルカラー印刷システム以外のシステム、または実際に使用されている用紙とは異なる用紙に印刷された場合のカラーをシミュレートするかどうか指定できます。

レンダリング

［レンダリング］エリアでは、［クラシック］、［オプティマム］、［ライン］、または［スープラ］など、［スクリーニング システム］を選択できます。［エラー］、［デフォルト フォント］、または［エミュレート フォント］などの［フォント ポリシー］も選択できます。

NexPress Solutions, Inc.
2600 Manitou Road
Rochester, New York 14653
USA
www.nexpress.com

詳細については、
弊社担当営業までお問い合わせください。

© 2006 Kodak. All rights reserved. Kodak、 NexPress、
NexBlanket、 NexGlosser、 NexPert、 NexQ、 NexStation
および NexTreme は Kodak の商標です。

NEXPRESS
A Kodak Company